

んだあな

今月のピックアップ!

- ・活動紹介
「1000人で支える
子ども保養プロジェクト」
- ・私のいっぽ
佐藤信子さん
(NPO法人北秋田/ハッピーテリバリー)
- ・CB/CSRいろは塾
「シニアの力が秋田を元気にする!」
- ・こちらNPO元気研究所
「おしえてファンドレイジング」
- ・情報あらかると
- ・あきたスギッチファンド情報

北部ハーモニープラザまつり「出会い・感動・今ここから〜」

主催：秋田県北部男女共同参画センター

7月27日(土)、北部ハーモニープラザまつりが大館市の北部男女共同参画センターで開催されました。日頃からセンターを利用するボランティア・市民活動団体・各サークルが集い、それぞれの活動紹介を通し、互いに「協働」の輪を広げる機会となりました。



歌声サークル「歌声たんぽぽ」



開会式



シンガーソングライター
本城奈々さんのミニコンサート



展示・体験コーナー、バザー等の
スペースがたくさん

活動紹介

1000人で支える 子ども保養プロジェクト

2012年3月に「セシウムを含む焼却灰受け入れ再開に反対する母の会」が母体となり、被災地の人たちに大館で心と身体をリフレッシュしてもらいたい、また保養や移住を考えている人たちに場所と情報を提供することを目的に活動を開始しました。



被災地や放射能汚染地域で、真っ先に危惧されるのは子どもたちの生活。子どもたちは外で遊ぶこともできず、コミュニケーション不足や体力の低下、成長期における食べ物からの毒性の吸収の早さが心配されます。また同時に、それらを懸念する親たちもストレスを強いられます。

「1000人で支える子ども保養プロジェクト」では、そうした子どもたちに、空き家を活用したシェアハウス『すくすくの木』を用意し、空気や食材を通した「秋田のおいしさ」と、農業体験やカヌー体験、星空観察などで「秋田の自然」を味わってもらうことで、心と身体の保養を提供しています。



代表 柴田房子さんからのメッセージ

「シェアハウスおおだてすくすくの木」には、平成24年度で44名の親子が利用し、大館少年自然の家でおこなった団体保養では19名が参加しました。放射能汚染を心配せずに戸外で遊べる環境があれば、子どもたちは瞬時に友達をつくり、生き生きとした本来の姿を見せてくれます。そこで初めてご両親の緊張がほぐれ、私たちも存在意義を実感します。

最近では、リピーターや子どもの夏休みを利用した1カ月の長期滞在、地域イベントに合わせた利用も増えてきております。滞在中には地元の人たちからお米や野菜の差し入れ等があり、人の温かさや秋田の良さを知ってもらいながら、同じ思いの人たちと繋がりあえる事で少しでも「安心感」を持ってもらえたらと思います。



「1000人で支える子ども保養プロジェクト」では、1000人の方に、1年に1回だけ500円のご協力を得て活動しています。皆さまの温かい支援金のご協力をお待ちしております。

★支援金お振込先★

【銀行名】 ゆうちょ銀行

【口座名義】 1000人で支える子ども保養プロジェクト

【記号】 18680

【番号】 11523801

※他行からのお振込【店名】 八六八【店番】 868

(普) 1152380

—口500円から。手数料は申し訳ありませんがご負担ください。

1000人で支える子ども保養プロジェクト実行委員会

代表 柴田房子

〒017-0803 大館市東台6丁目8-28

E-mail: hoyouinakita@gmail.com

ブログ: <http://hoyouinakita.blog.fc2.com/>

私のいっぽ

みんなを笑顔に～

佐藤信子さん

NPO法人
北秋田ハッピーデリバリー、
理事長



秋田県の高齢化率は全国でトップとなっており、北秋田市の高齢化率は37%を超え、これまでにない高齢化社会となっています。生活に必要な商業施設や公共機関は郊外に集中し、また交通手段も少なくなり、高齢者世帯にとっては不便なことが多く、生活に大きな支障となっています。この地域問題を解決し、地域に住む高齢者がイキイキと生活を送れるよう、「NPO法人北秋田ハッピーデリバリー」を立ち上げたのが佐藤信子さん。

一活動を始めたきっかけは？

勤めていた地方公務員を退職する時期が迫り、退職後、自分はどうすべきか？何をしたいのか？を考え始めていました。私が住む北秋田市は超高齢化が進み、高齢者世帯の生活は不便なことが多く、以前から「自分に何かできないかな」という思いから、休日を利用して、起業やNPOについて勉強をしていました。そんな中、住民が主体的に高齢者支援等の活動を支援する補助金の情報が入ったのです。私の定年退職は翌年の3月、しかし、この補助金はその年の10月までに申請しなければなりません。定年まで仕事を全うすべきか？早期退職して新たに地域のために何かをする道に進むべきか？悩みました。活動を始めるには、やはり資金も必要です。それを補助金という形で受けられる機会は滅多にありません。先延ばしにしたところで、いつ実現できるかわからない。悩んだ末、「いつやるの？いまでしょ。」と自分に発破をかけ、9月末での退職願いを提出し、活動の一步を踏み出しました。

一やりたかったことをどのように形にしたのでしょうか？

「高齢者が住みやすい地域にするために具体的に何をすべきか？」を考えた時に真っ先に頭に浮かんだのは、85歳でひとり暮らしをしている実家の母のこと。母からは、定期的に「あれが無くなった、これが無くなった」という電話がかかってくるまで買い物に行っていました。

高齢者世帯では、大きなものや重い物の買い物は、

体への負担も大きく、車を運転できない人にとっては生活に大きな支障となっています。日々の暮らしの中で、少しの助けがあれば住みなれた愛着のある地域でイキイキと生活できる人は多く、それをお手伝いすることはできないだろうかと考え、「買い物代行」「日常生活支援サポート」「外出支援サービス」を行うことにしました。



一活動スタートから一年を迎えてみて

すべてのことが初めてで、壁にあたっては対策を考えて1つ1つ乗り越え、まだまだよちよち歩きの状態ですがやっと一年を迎えることができました。

利用者からの感謝の言葉はもちろんありがたいことですが、私自身、日々働いて社会に繋がっているという喜びもあります。

一これから何かを始めたいと思っている方々へ

地域社会において何が求められているのか？ニーズをしっかりと見極めることが大切だと考えます。それからある著書に「やってしまった後悔とやらなかった後悔、どちらも取り返しがつかないが、やってしまった後悔からは、ちゃんと血が出て、かさぶたができて治る。しかし、やらなかった後悔は内出血のような痛みが続く」とありました。私は、とりあえず進んでみる、やってみるという人生のスタンスで進んできました。ちょっと乱暴ですが、やってみなくちゃわからないというところは大きいと思います。そして、そこから次のステップが見えてくると私は信じています。

私達はこんなことをお手伝いします。

①買い物代行サービス事業

・電話等いただければお買いものをお届けします。

②日常生活サポート事業

・掃除、洗濯、調理、買い物サポート、話し相手等

③外出支援サービス

・車による移動、通院介助、外出介助

NPO法人北秋田ハッピーデリバリー
〒018-4301 秋田県北秋田市米内沢字鶴田61番地
TEL:0186-72-3816 FAX:0186-84-8070
URL:<http://www.akita-kenmin.jp/happy/index.html>



CB・CSRいろは塾

NPO派遣相談員として、東北地域を走りまわっているインキュベーションマネージャーの浅利博樹です。さまざまな地域ビジネス（CB）や、企業の社会貢献活動（CSR）の事例を紹介していきます。



シニアの力が秋田を元気にする！

先日、能代市で行われたセミナーに参加してきました。

テーマは「シニアの起業」。自分らしさを発揮出来る地域に根ざしたシニアの起業について、実際の起業者をお招きしての講座でした。

参加者は実際の起業の際の苦労話や喜びなどを直に聴き、自らの起業イメージと重ね合わせていた事と思います。

またセミナー終了後には参加者同士で語り合う場面も見られ、お互いの持っている素材（ヒト・モノ・情報）を話しあうことで起業のヒントに繋がればと願いました。

さて、なぜ今、シニアの起業を薦めるのか？それにはいくつかの理由があります。



ほっと駅「かたるべ」の
カラフルマザーズ

「人生90年代へ」

「超高齢化社会」を迎えつつある現代、従来の雇用型就労に代わる生き方が求められています。

これまでの「年功序列」や「終身雇用」といった、比較的安定感のある就労の仕組みが長らく続いたのち、バブル崩壊や金融市場の混乱を機に「個の能力」が重要視されるようになり、安定した就労は過去のものになってしまいました。いわばアメリカ型の成果主義に変化しようとしている時期ともいえます。

このような一寸先が読めない現代社会ですが、変わらぬものもあります。

それは「経験」です。

シニア世代は長い経験と多くの人脈があります。昨今、健康意識も高まっていることから健康年齢も伸びており、老いてなお元気なシニア世代が多くいらっしゃいます。

まさにセカンドステージ（人生の第二創業）が名実ともに定着する時代が到来しつつあるのです。



和（なごみ）の会

「人生の第二創業が日本を救う」

シニアの起業は、若者にとっても大きなメリットがあります。

自らの経験を活かして起業するその姿は若者にとっては自身の将来目的をイメージする際の指針となります。従来の起業層にシニア起業層が加わることで新たなビジネスチャンスが生まれ、若者にとっての雇用の受け皿にもなりうるのです。長い経験に基づく技術や知識の継承と併せて地域経済が活性化するという好循環が生まれる可能性も秘めています。

実は秋田県の60歳以上の起業率は非常に高く、全国平均約6.6%に対し28%という調査データがあります。秋田のシニアは実は行動派なのです。

日本を救うとは大げさかもしれませんが、地域に根差すビジネスが生まれることで地域の活力につながります。今こそ働き方・生き方の転換期なのかもしれません。

これまでの知識・技能・人脈に更に新しいソース（若者・地域資源・他機関との協働）を加えることで、その地域ならではの素敵なビジネスが生まれることを願いながら、懸命に支援を行っていきたく思います。

シニア起業・最初のポイント（シニア起業に限らず全般として考えて頂いてもOK）

◇紙に書く

まずは自分自身をおさらいするところから始めます。想像するだけでなく、実際に紙に書いてみます。（実際の起業相談時もこの手法を用います）

言葉を選ばず、直感で書きます。完成度を気にする必要はありません。文字として客観的に見ることで、起業イメージを整理できます。

- ①今やりたいと思っていることは？
- ②そもそも私がなぜそれをやろうと思ったのか？
- ③期待する成果は？（何を解決するの？）
- ④使える資源（経験・ヒト・モノ・情報・など）
- ⑤見込める対象（需要）は？



コミュニティ菓子工房
畑沢貴美子さん(左)

◇欲しい資源をリストアップし、重要度と緊急度に分ける。

事務費・備品・人員など、様々に必要なものがあるかと思えます。どれも大事ですが、あえて順位付

けをしてみましょう。これも紙に書き起こします。

例えばパソコンが必要だとします。無いと事業自体が成り立たないか（重要度）の度合い、今すぐ必要か（緊急度）の度合いを例えば10段階で点数付けをします。重要度と緊急度の合計点数が高い順に並べ替えると、まずは何をしなければならないかが見えてきます。



NPO法人ふじさと元気塾
藤原弘章さん(右)

この2枚の紙にスタートとゴールが集約されています。時折見直ししながら徐々に修正を加えることで完成度が高まり、誰が見ても納得する（説得力のある）事業計画へと繋がります。

起業を決意した日から創業後の日々の運営相談まで、当法人スタッフが丸となって支援致します。



開催決定!

第3回 県北地区 あきたスギッチファンド チャリティグラウンド・ゴルフ大会

少子高齢化・自殺予防・まちづくり等の地域問題解決に取り組むNPOや市民活動団体支援と県内各地の方々との親睦と交流を図り、スギッチファンドへの理解と協力を深めます。

日時 平成 25 年 9 月 14 日 (土) 8:30~

- 会場 大館能代空港ふれあい緑地広場
- 参加費 一人 1,000円
- 競技規則 日本グラウンド・ゴルフ協会ルールを適用します。
※ダイヤモンド賞 対象大会
- 表彰 合計打数により順位を決定します。
男女 1~10位、ホールインワン賞、ラッキー賞ほか
- 申込み・問い合わせ

秋田県北NPO支援センター 0186-49-3485（浅利、畠山、市川）
または、最寄のグラウンド・ゴルフ協会事務局まで



～NPO・市民活動団体 安定した運営を目指して～



こちら NPO 元気研究所

NPO経営安定化等対策事業
市川 愛望(いちかわまなみ)

おしえて! ファンドレイジング^(※1)

地域、社会に対する貢献活動に取り組むほとんどのNPO・市民活動団体は、たくさんの支援者を必要としています。地域を良くしよう、社会を良くしようとする姿勢に上下はありません。しかしその活動に「共感」を得るのは容易なことではなく、自らの活動が人やモノを動かし支援を得るまでに、どのような経過を積むべきか、ファンドレイジングの概要に沿って考えていきましょう。

1、共感を得るための準備

自らが支援者の立ち位置になって考えてみると、まず信頼のおける相手であることが重要ではないでしょうか? 自らの活動がもたらす地域、社会への利益を明確に公開することで、たとえ無関心であった他人でも「ここに響く社会課題解決への想い」を伝えることは、つながりを持つきっかけになるはずです。財源の始まりは人であり、人から人への支援の輪は最大の運営資源です。

まず「どのような活動を行い」「どの程度の資金を使い」「何を実現するか」を明らかにし、外部に説明する必要があります。

自らの活動を明確に示し公開することで、まず人を動かすことです。支援金やモノを動かすのは人です。多くの人とコミュニケーションを広げ「共感」を得ることで、賛同者や活動の選択肢を増やしましょう。

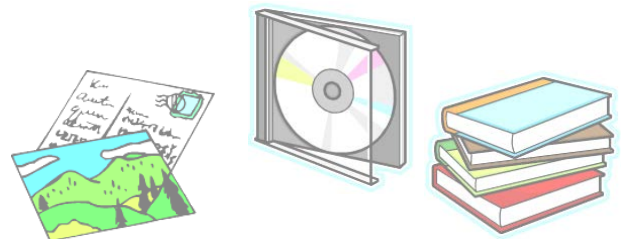
2、支援の受け入れ体制の整備

① 支援者側が手軽にできる寄付の手法を準備しておくことです。支援をしようとした際に寄付の金額を選べると、支援者側が自身の状態に合った支援や、寄付の方法がクレジット、コンビニ、銀行など、離れた場所からでも決済可能であれば、広い地域から支援を求めることができます。

② 支援者に利益のある寄付、会員の募集の仕方があります。支援者へ何らかのメリットが還元されると支援の継続の可能性が高まります。例えば自団体のイベントや報告を定期的に連絡したり、自団体の製品の優待券があったりすると、支援者とのコミュニケーションが深まり、活動の参加の意識を高めることにもつながります。

3、さまざまな支援のかたち

支援はお金だけではありません。例えば書き損じはがき、使わなくなった古本、CD、金券など、資金に還元できる物品を提供してくださる支援の形もあります。また活動場所の提供、ボランティアも支援です。現金だけではなく物品や人材も、貴重な財源となっていきます。



安定した運営は誰もが望むところですが、NPO・市民活動団体の運営の在り方は百団体、百通りあり、一様に同じ財源が得られる訳ではありません。

たくさんの方とのつながりを結ぶことで、自団体の新しい発見や成長を繰り返し、何年か先の団体の在り方を見ていきましょう。

(※1) ファンドレイジング

民間非営利団体が個人、法人、政府から資金を集める行為を総称します。一般的には寄付、会費、助成金、補助金などの支援的資金も含むとされています。

【参照】「ファンドレイジング入門～善意のお金の集め方～」
徳永洋子(日本ファンドレイジング協会)

イベント情報

ブラックベリーまつり 摘み取りジャム作り体験

子どもの夏休み体験学習、大人の貴重な体験としてやってみませんか。ブラックベリーはアントシアニン、ビタミンC、ミネラルたっぷり含んで目の健康や肌に良いとされています。

【日時】平成25年8月5日(月)～31日(土)
9:00～12:00

【場所】立花ファーム事務所(大館市立花字立花62)
『田の中公園』～『立花ファーム加工場』

【参加料】1人1,500円

※ただし5人以下は実施しませんので、友人・知人をお誘いの上、申し込みください。

【問い合わせ・申し込み先】

立花農業盛上げ隊
〒017-0877 大館市立花字立花62
TEL./FAX.0186-43-6628



第48回(平成25年度) 大鮎の里ふるさとまつり

大鮎の千匹焼きやマス・イワナのつかみ取り、餅まき、盆踊りや火花打上など夏の思い出になるイベント盛りだくさん。

【日時】平成25年8月17日(土) 14:30～21:15
【場所】米代川河川緑地(大館市田代総合支所の川向)
【対象】子どもから大人まで

【問い合わせ】

大館北秋商工会田代支所

TEL.0186-54-2256

詳細は下記 URL にて

<http://www.city.odate.akita.jp/dcity/t.html>



第9回能代宇宙イベント

ハイブリットロケットの打上げや、缶サット競技優勝チームによるデモンストレーション、子どもたちによる水ロケットの打上げなどをおこないます。

【日時】平成25年8月25日(日) 14:30～21:15
【場所】能代宇宙広場(秋田県浅内第三鉱さい堆積場)

【対象】子どもから大人まで

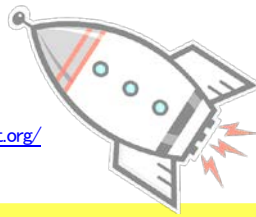
【問い合わせ】

能代宇宙イベント協議会

TEL.018-889-2806

詳細は下記 URL にて

<http://noshiro-space-event.org/>



祝10周年!子育て応援列車 なかよしぽっぽ号

今年でなかよしぽっぽ号は10周年!親子の交流・遊び場として今年もぽっぽ号が走ります♪会場では、いろんな遊び体験ができます!

【日時】平成25年9月8日(日)

10:25～16:07(9:30受付開始)

【集合場所】秋田内陸縦貫鉄道 鷹巣駅

【対象・定員】先着130名

※大館市・北秋田市・小上阿仁村にお住まいの0歳から就学前までの子どもとその保護者とし、保護者は2名まで。保護者のほか、お子さんの兄弟も参加可。(子どものみの参加は不可)

【参加料】大人及び小学生以上の兄弟の方1名につき500円。就学前のお子さんは無料。

【持ち物】昼食・飲み物・ゴミ袋・汗ふきタオル

【問い合わせ・申し込み先】

なかよしぽっぽ号事務局

北秋田地域振興局 鷹巣阿仁福祉環境部

TEL.0186-62-1165



募集情報

秋田県生活センター 目指せ!「くらしの達人」 平成25年度 登録者募集中

くらしの安全・安心と心豊かな消費生活を実現するため、必要な知識を系統的に学習します。

【講座の日程】

●1回目 平成25年9月6日(金) 13:00～15:00

テーマ「近年の異常気象とその背景」

講師:秋田地方気象台 担当者

●2回目 平成25年9月27日(金) 13:00～15:00

テーマ「指タッチで簡単!タブレット体験教室」

～パソコンいらずのインターネット～

講師:NTT東日本 秋田支社

●3回目 平成25年10月24日(木) 13:00～15:00

テーマ「あなたの知らない薬の知識」

講師:秋田県薬剤師協会 専務理事 鳥海 良寛 氏

●4回目 平成25年11月20日(水) 13:00～15:00

テーマ「省エネ・節電!」～上手な電気の使い方～

講師:パナソニック(株) 中村 光宏 氏

※ご希望の講座のみの受講も可能です。

【会場】大館市中央公民館(大館市字桜町南45-1)

【登録定員】50名

【受講料】無料

【登録申し込み方法・期限】

平成25年8月30日(金)までに電話にて

下記申し込み先までご連絡ください。

【問い合わせ・申し込み先】

北部消費生活相談室

〒017-0843 大館市中町5

TEL.0186-45-1041

助成金情報

公益財団法人ヤマト福祉財団 ジャンプアップ助成金

すでに障がい者の給料増額に一定の実績がある施設・事業所に対し、更により多くの給料を支払うことができるための事業・設備投資のうち、不足する自己資金の一部として500万円を上限に助成します。

【応募要件】①平均工賃一人当たりすでに月額2万円以上支給していること。②助成対象がより本格的事業を取入れた総事業費500万円以上の事業であること。

③平成26年3月までに事業開始し、助成金を受給すること。

【応募方法】ホームページより「ジャンプアップ助成金申請書」を印刷して必要事項を記入し、記載の添付資料を添えて下記提出先までお送りください。

<http://www.yamato-fukushijp/works/subsidy/>

【応募期間】平成25年8月31日(土)必着

【提出先・問い合わせ先】

公益財団法人ヤマト福祉財団 助成金事務局

担当: 本田・飯塚

〒104-0061 東京都中央区銀座2-12-18

ヤマト銀座ビル7階

TEL.03-3248-0691

元気なふるさと秋田づくり活動支援事業 元気あきた資金

県民や地域が取り組む自主・自立した地域づくり活動や地域が元気になる活動で、次の2つの事業を全県で10件程度対象とします。

【対象事業】

●イベント等開催支援

地域に根差した新たな地域活性化イベント、地域の課題解決や地域を元気にするためのイベント、地域資源の発掘及びPRのために行うイベント等。補助対象経費の1/2以内で、限度額は30万円とします。(過去に元気あきた資金を活用したことがあるイベントについては補助率を補助対象経費の1/3以内とし、限度額を20万円とします。)

●講演会・学習会等開催支援

地域のあり方を考えたり、地域づくりに資するプランを構築するための講演会・学習会等で、その効果を広く地域で共有し、地域づくり活動の推進が期待されるもの。補助対象経費の1/2以内で、限度額は20万円以内。

【補助対象経費】講師謝金・旅費、ポスター・チラシ・パンフレット作成費、通信運搬費、会場・設備・機材使用料、消耗品費等。

【事業期間】

平成25年9月以降～平成26年3月10日(月)

【応募期間】平成25年8月23日(金)まで

【提出先・問い合わせ先】

最寄の地域振興局 または 下記 URL のチラシをご確認ください。

<http://www.akita-kenmin.jp/docs/2013072600021/file/s/tirasi.pdf>



あきたスギッチファンド情報

第9回あきたスギッチファンド
助成採択団体が決定しました。



【平成25年7月20日(土) 遊学舎】

団体名	事業名
冠ファンド「三国子ども震災支援ファンド」上限10万円コース	
NPO 法人秋田パドラーズ こども未来ねっと能代	キャンプで秋田の自然を知り、秋田で活躍しよう クリスマス会においてよ!
冠ファンド「三国子ども震災支援ファンド」上限30万円コース	
仁賀保高等学校 Benkyo&Volunteer 同好会	福島の高校生を秋田にプロジェクト (FKA プロジェクト)
冠ファンド「三国子ども震災支援ファンド」上限50万円コース	
まちなかトープ	白い風と遊ぼう
本ファンド 上限10万円コース	
あきた AT 研究会	自分らしく生きるために～アサーティブ・コミュニケーション講座～
NPO 法人いきいきF ネット秋田	子ども虐待防止のための支援者養成講座 MY TREEMY ペアレンツ・プログラム実践者養成 (集中基礎講座)
あきた ESD ネットワーク	未来に生かそう! 高校生のための「被災地行って、見て、聴いて」Part2
公益社団法人全日本断酒連盟 秋田県断酒連合会	自殺とアルコール関連市民公開セミナー
日本ダウン症協会秋田県支部 すみれの会	日本ダウン症協会東北ブロック大会～知れば知るほど愛おしい～
本ファンド 上限30万円コース	
NPO 法人あきた福祉共生会	Hand to Hand カutting・チーム事業 ～障害者による高齢者のための訪問美容～
NPO 法人秋田バリアフリーネットワーク	高齢地域生活者総合支援事業
秋田県有機農業推進協議会	「オーガニックフェスタ in あきた2013」と 「ミニ・オーガニックフェスタ in 湯上」(仮称) の開催
舞踏舞踊ワークショップ実行委員会	舞踏・舞踊ワークショップ2013
アキタ・バル街実行委員会	秋田にバル街がやってきました! part2
本ファンド 上限50万円コース	
NPO 法人秋田県心の健康福祉会	地域自殺対策推進事業
NPO 法人東日本大災害復興委員会 (略称: EJDRF)	「2013年度 EJDRF 被災地交流体験事業」

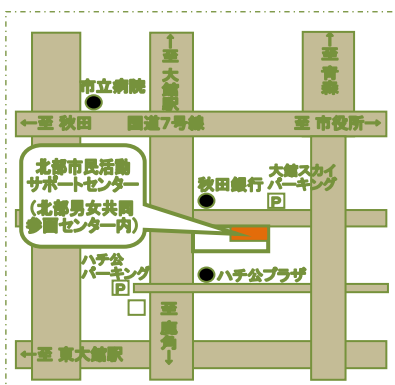
※【三国こども震災支援ファンド】

東日本大震災の被害にあい、秋田県内に避難をしている子どもを多方面から支援する活動をおこなう、秋田県内のNPO等の団体へ三国商事株式会社より500万円の寄付金を原資として助成するものです。

【問い合わせ先】 NPO 法人あきたスギッチファンド TEL.018-839-8941

<http://www.akita-kenmin.jp/akita-npo-fund/>

秋田県の市民活動団体の情報が満載! 秋田県市民活動情報ネット <http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>



<編集後記> 先日、被災地の方々と触れ合う機会があり、たくさんお話ししてきました。やはり被災地ではまだまだ苦勞が絶えない様子ですが、彼らはそれ以上に「秋田県と秋田県民の良さ」について語ってくれました。誇らしい反面、ちょっと涙が出そうになりました。<畠山>



『んだすな』には、人と人が願いを共感し、協力し合えたらという想いが込められています。

平成25年8月10日発行

発行: 秋田県企画振興部地域活力創造課

〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1

TEL.018-860-1245 FAX.018-860-3875

編集: 北部市民活動サポートセンター

〒017-0842 秋田県大館市字馬喰町48-1

TEL.0186-49-8553 FAX.0186-49-8589

<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>

E-mail angec1@io.ocn.ne.jp

○北部市民活動サポートセンターは秋田県から委託を受けて特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センターが運営しています。